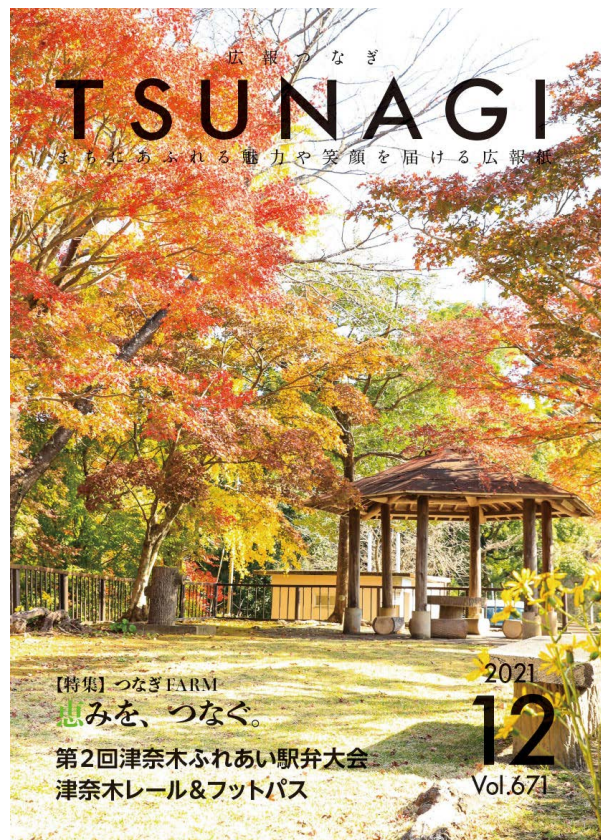




「次世代につなぐ農業」をテーマに特集した令和3年12月号。本県代表の町村としては、令和元年の湯前町（入選3席）以来の全国入選



快挙

令和4年全国広報コンクール

「広報つなぎ」全国初入選

全国広報コンクール 審査員評

持続可能な農業を目指し、実践する人々の活動が丁寧に紹介されていて、読み応えがあった。生産者と消費者をつなぐ情報のキャッチボールが見える。地域農業のアクション「つなぎ FARM」の認知度がさらに高まったのではないだろうか。

そうした生産者の取り組みに加え、小中学生の農業体験、商品の販売を担う「つなぎ百貨堂」など、地域ぐるみの活動を精力的に取材した広報活動を評価したい。

Judge's Review

全国の広報紙の中から優秀作品を表彰する「令和4年全国広報コンクール」（日本広報協会主催）の審査結果が発表され、広報つなぎ令和3年12月号が広報紙部門（町村部）で初入選を果たしました。

広報紙・町村部には33点が出品されました。受賞した同号の特集では「恵みを、つなぐ。」と題して、自然栽培や有機栽培に挑む農家や農業体験した子どもの姿を12ページにわたって紹介。広報紙・市部では菊池市が全国4位となる三席を果たすなど、熊本勢の活躍が光りました。

- ▼三席 熊本市菊池市
広報きくち（同10月号）
- 審査結果《広報紙・市部》
- ▼三席 北海道清水町
広報しみず（同12月号）
- ▼入選 熊本県津奈木町
広報つなぎ（同12月号）
ほか5自治体
- ▼特選 神奈川県葉山町
広報葉山（令和3年12月号）
- ▼一席 愛媛県内子町
広報うちこ（同12月号）
- ▼二席 愛知県東浦町
広報ひがしうら（同12月号）
- ▼三席 北海道清水町
広報しみず（同12月号）
- ▼入選 熊本県津奈木町
広報つなぎ（同12月号）
- ▼特選 神奈川県葉山町
広報葉山（令和3年12月号）
- ▼一席 愛媛県内子町
広報うちこ（同12月号）
- ▼二席 愛知県東浦町
広報ひがしうら（同12月号）
- ▼三席 北海道清水町
広報しみず（同12月号）

町の紹介

緑と彫刻のある町
熊本県津奈木町

津奈木町は熊本県南部に位置し、南は水俣市、東は芦北町に隣接し、西は不知火海を隔てて天草諸島と相對しています。東西6.5km、南北9kmで総面積は34.08km²。総面積の約6割が山林地帯であり、地勢も壮麗期の安山岩山系に三方を囲まれ、西向き急傾斜に開けたリアス海岸は美しく、芦北海岸県立自然公園の指定を受け、海深く良港に富んでいます。



町章



町の木「すぎ」



町の鳥「やまどり」



町の花「つわぶき」

CONTENTS 広報つなぎ No.677 June 2022

- 02 《入魂の宿》柳幸典つなぎプロジェクト
海に魂が入る—
- 05 令和4年全国広報コンクール「広報つなぎ」全国初入選
- 06 フォトリポート
つなぎ 平国小マルシェ
- 08 まちのわだい
津奈木中学校体育大会／つなぎ温泉「四季彩」こいのぼり設置／淵田安子「いつかたどり着いたら」／令和2年豪雨災害復興支援／つなぎ寒漬フェア
- 10 水葦県体通信／地域おこし協力隊通信／津奈木町の情報発信
- 12 INFORMATION+
山地災害防止キャンペーン／学生納付特例申請／光ブロードバンド加入促進補助金制度／第11回特別弔慰金／小児用新型コロナワクチン接種／食育月間／ヘルプカード・ヘルプマーク／身体障がい者・知的障がい者相談員／児童手当現況届／金婚夫婦対象者受付／図書館本貸出冊数ベスト10／あけぼの大学（防災講話）／町内に空き家をお持ちの人へ 空き家バンクに登録しませんか
- 16 暮らしの情報
意思疎通支援者養成講習会／農業散布はルールを守りましょう／商品開発・商品力アップしたい事業者募集／ジョブカフェ（しごと相談・支援）／飼い主のいない猫との向き合い方／地域版依存症相談会／高齢者のための無料職業紹介／依存症家族ミーティング／若者サポートステーションやつしろ出張相談会／受動喫煙防止のために／春秋叙勲候補者推薦／火災警報器の設置・点検をしましょう／安心してマリノレジャーを楽しむために／家族介護者交流会／マイタイムラインを作って早めに避難／災害の備えは大丈夫ですか／県警察職員採用試験／つなぎ温泉四季彩・つなぎ百貨堂
- 18 住宅新築・外構工事費用の一部を補助します／図書館から新刊情報／休日当番医／乳幼児健診の案内／人のうごき／寄附・芳志お礼／近隣自治体のイベント情報
- 20 つなぎ美術館情報

今月の表紙



5月21日(土)、旧赤崎小学校のプールが巨大なアート作品に生まれ変わりました。現代美術家の柳幸典さんが、水俣病を描き続けた作家・故石牟礼道子さんの詩から着想を得た《入魂の宿》。不知火海をイメージしたビオトープや窓のない屋内で海と空を眺められる空間などを通じ、水俣病問題を考えてもらう作品です。